

グリーンエコシティ岩見沢

発行：ごみのよりよい始末を進める市民会議

はじめに

ごみのよりよい始末を進める市民会議は、再出発後6年目を迎えました。この間、廃棄物の処理に関し、様々な啓発活動や資源の再利用法、ごみの分別のマニュアル作りや、環境フェスタの開催を行ってまいりました。

平成27年4月より「いわみざわ環境クリーンプラザ いわ☆ぴか」が本格稼働を始め、加えて燃やせるごみ・燃やせないごみの有料化や新たな分別も始まりまして、いずれも予定通り進んでおりますが、未だ100%ではありません。

市民会議では、新年度の活動として更なるごみの減量化を推し進め、資源の確保、再利用への促進を図り、環境美化に対する啓発活動を進めてまいります。

また、「グリーンエコ」では、生ごみの処理に関しダンボールコンポストやコンポストの講習会・実演会を開催し、生ごみ減量のための堆肥化を推進しているところです。

小型家電製品や廃油、古本、古新聞などの回収も行っておりますので、市民の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



市民会議の活動紹介

環境フェスタ 2015~7月4日(土)

環境フェスタは、当日午前春木会長のあいさつから始まり、環境美化標語の発表があった後、松野市長のごあいさつをいただきました。

また、大型リサイクル品の抽選受付が行われました。家具、自転車など、新品同様のきれいな品が並びました。

クイズコーナーや、生ごみ堆肥化講座でコンポスト・ダンボールコンポスト・電動生ごみ処理機の使い方をお教えするなど、たくさんの催しがあり、環境フェスタ終了後には講演会もありました。

市民の皆様もだいぶごみの出し方には慣れてきていると思いますが、一人一人がごみをきちんと分別して出されるようにするのが大事なことだと思います。(H、Y)

(次ページへ続く)

環境フェスタ 2015~7月4日(土)

今年の環境フェスタは広い会場の「イベントホール赤れんが」において、『まちなかマーケット』との同時開催で行われました。中央にリサイクルマーケット、両側に各団体・企業ブースとリサイクルの家具や自転車が並び、市民会議のテーブルはステージ正面に設置されました。

10時にクイズコーナー、マーケットの販売、大型リサイクル品の受付を開始し、マイバッグキャンペーンと進み10時30分より開会式です。春木代表委員長の挨拶の後、環境美化標語大賞スピーチ、寄付金目録贈呈式の後、松野市長のご挨拶をいただきました。



大勢の来場者の中、大型リサイクル品の抽選会、特にリサイクル自転車は大好評でした。コンポストとダンボールコンポストの「生ごみ堆肥化講座」を2回催し、理解していただき、会場でのダンボールコンポストの販売に結び付きました。また、まちなかマーケットによるステージ発表、岩農高の花苗配布も盛況のうちに終了いたしました。



環境フェスタ講演会は同ホール2階の多目的室に大勢の市民が参加して開催されました。講師の北海道大学大学院工学研究院の山形定（やまがただむ）助教はNPO法人北海道新エネルギー普及促進協会にも籍を置かれ、日々お忙しくご活躍なさっております。講演は「自然エネルギーがつくる豊かな暮らし」とのテーマで、太陽と地球の関係を通して、地球環境を取り巻く様々な問題を分かりやすく聞かせて頂きました。食糧やエネルギーの大半を外国に頼る生活、CO₂がもたらす気候変動、処理のできない放射性廃棄物、どれもが重大な問題です。我々もエネルギーを使用して、焼却炉を稼働しごみを処理しています。北海道の自然エネルギー源で「いわ☆ぴか」の稼働も夢ではないと思えた一日でした。(M)

先進地視察研修

今年度の研修は上川郡当麻町の旭川プラスチック再生センター 田中石灰工業（株）といわみざわ環境クリーンプラザの2か所を視察することになりました。

10月26日、朝肌寒い中、ごみのよりよい始末を進める市民会議の19名の会員と市の担当者2名を乗せたバスは高速道路を一路旭川方面へ向けて出発しました。晩秋の山々は朝日を受けて黄色に染まり美しい姿を見せていましたが、滝川を過ぎるころから田畑がうっすらと白い雪に覆われていました。

田中石灰工業（株）では、まず研修室に案内されてプラスチック再生事業の概要が説明されました。今年度は岩見沢を含めて42の自治体から1万7千トンのプラスチック製容器包装を集めて処理する予定であることを知りました。

その後工場見学となり、幾重にも重なり合うようなベルトコンベアの騒音の中で、原料であるプラスチック製容器包装が解砕され、選別され、洗浄され、乾燥されて製造設備の中に消えていき、化学処理されて再生ペレットとして私たちの身の回りに多く見られるプラスチック製品の原料として生まれ変わる工程を理解しました。（T）

岩見沢市がごみの有料化に移行して早1年になろうとしています。しかし、分別に関してまだまだの感があるのは、私の杞憂でしょうか。そこで、今回はプラスチック容器包装の最終リサイクル工場を視察研修してきました。

田中石灰工業株式会社は創業120年で、本社は高知県にあります。旭川プラスチック再生センターは、リサイクル能力拡充を図るため、平成27年に第2工場を増設しております。技術面でも[ISO9001（製造品質）]・[ISO14001（環境品質）]を取得した工場でした。

圧縮梱包された原料は、素材ごとに選別されリサイクルされ、残った燃える素材は固形燃料化されていました。工場担当者の説明では、プラスチック容器包装の中に【缶・びん・ボンベ】等の異物が混入しているそうです。

岩見沢市から送るプラスチック製容器包装の中には、異物が入らないように皆さんと共に意識向上を図り、分別したいものです。（K）



その他の活動

* 生ごみ堆肥化講座 *

コンポストを使用した生ごみ堆肥化講座を、クリーンエコ担当者と共に数回開催しました。各回共に盛況でした。生ごみ堆肥化講座は、今後も定期的に関催していきます。皆様のご参加をお待ちしております。



次回 生ごみ堆肥化講座開催日

3月10日（木）午後1時～3時

定員：20名 持ち物：筆記具

参加申込先：クリーンエコ（☎31-1153）

* ダンボールコンポスト基材作り *

「クリーンエコ」等で販売しているダンボールコンポストの「基材」作りで、真っ黒になりながら働いています。



▲材料の一つ「ピートモス」



▲バケツで4ℓ計ります



▲真っ黒になる原因「もみ殻くん炭」

市民会議では、中学校の制服の交換会を企画しています。卒業した・サイズが合わなくなったなどで不要になった制服がございましたらぜひお譲りください。

対象：岩見沢市内の中学校の制服（男女とも）※洗濯済みのものをお願いいたします。
また、お預かりの際に学校名をお伺いいたします。

受付期間：平成28年4月1日～4月30日

受付場所：クリーンエコ（3西4）午前10時～午後5時

★お預かりの際に状態を確認させていただき、場合によってはお断りする場合がございます。ご了承ください。

ごみステーションの現状

①どこのごみステーションもカラスにごみを荒らされて困っていると思います。春日町のごみステーションでは、写真のように、カラスが入り込まないように網で上と下を塞ぎました。それ以来カラスにごみを荒らされることはなくなりました。

②1月に入るとごみステーションの中も外も雪が積もり、ごみステーションにたどり着くのも一苦勞。「誰かがやらなければいけない」と思い、雪が降るたびに自分の家の前の除雪のついでにごみステーションの除雪も行います。ごみステーションの屋根に積もった雪も下ろします。ちょっぴりでも皆さんがごみステーションに関心を持っていただければと思います。(K)



▲①上下を塞いだごみステーション



▲②ごみステーションの除雪をする町会の方

50世帯に満たない小さな町内会で、4基のごみステーションを設置しています。2基はペットボトル、アルミ缶、スチール缶、ガラスびんなどの資源を収納できる大型で、他の2基は小型です。いずれも鉄筋製で古いものは20年近く使用しています。3年に一度ペンキの塗り替えをしているからでしょうか。

最近の役員会で話題になっているのはカラス対策です。野良猫被害も頭の痛い問題です。燃やせるごみの日に白い袋で出されていることがあり、管理は特に話し合いをしているわけではないのですが、役員や班長さんが自主的にしているようで、小さな町会の利点でしょうか、利用状況はおおむね良好と言えるでしょう。(T)



←ペンキを塗り替える町会員

クリーンエコについて

私たちごみのよりよい始末を進める市民会議メンバー34名は地区協より推薦され、ボランティアで1日2名が2交代で拠点「クリーンエコ」で、市の職員の方と資源ごみの分別、生ごみの分別、堆肥化の相談などに応じることで私たちも一緒にお勉強させていただいております。ここは16種類の資源物を受け入れておりますが、それ以外のごみの分別で混入してはいけないものを分かりやすく提示しております。



また、ごみの減量につながる下記の講習を開いております。

●ダンボールコンポスト・コンポストの使い方講座

●資源物（新聞紙・牛乳パック・古布・その他）を使った手芸講座

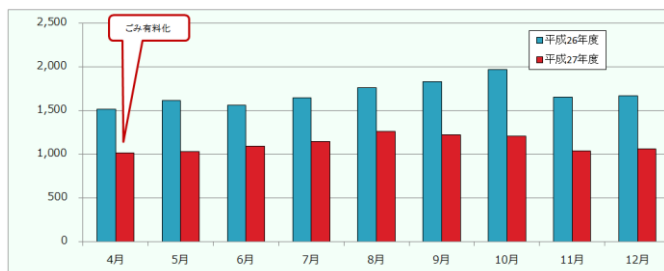
マイバッグ・コサージュ・小物入れなど、どれも素晴らしいアイデア作品ばかりです。

講習の様子、出来上がった作品・写真もクリーンエコで展示しております。

これらの講習の募集は広報いわみざわでお知らせしております。

ごみの減量 - 市役所より -

平成27年4月にごみの有料化を実施し、1年が経過しようとしています。岩見沢市のごみの量は、平成26年度と比較するとごみ全体で30%以上減少しています。市民の皆様がごみの分別・資源化に取り組んでくださった結果と考えております。心より感謝申し上げます。今後とも一層の分別徹底・資源化の促進にご協力をよろしくお願いいたします。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成26年度	2,620.41	2,832.87	2,806.50	2,904.31	2,973.32	3,049.73	3,358.32	3,070.14	2,774.72
平成27年度	1,717.18	1,775.45	1,958.02	2,025.13	2,109.24	2,014.63	2,077.81	1,762.09	1,770.97
対前年比(t)	▲903.23	▲1,057.42	▲848.48	▲879.18	▲864.08	▲1,035.10	▲1,280.51	▲1,308.05	▲1,003.75
対前年増減(%)	▲34.5%	▲37.3%	▲30.2%	▲30.3%	▲29.1%	▲33.9%	▲38.1%	▲42.6%	▲36.2%

編集後記



「クリーンエコシティ岩見沢」第4号を発行することができました。今回は、編集委員に新メンバーを加え編集いたしました。発行にご協力いただいた方々に感謝いたします。

ごみのよりよい始末を進める市民会議

事務局：市役所廃棄物対策課 ☎23-4111(内線 213)